

SpotScan

赤外線存在検知器

取り扱い説明

日本語

1 安全のために

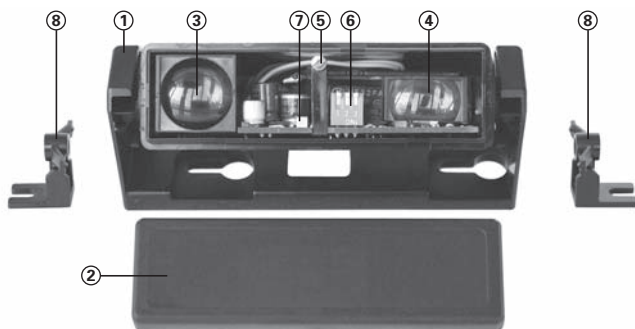


同器は、必ず安全電気分離機付きの保護低電圧で操作して下さい。販売代理店以外の人は修理を行わないで下さい。センサーの電子及び光学部分には絶対に触らないで下さい。雨や雪から保護して下さい。

2 商品機種

SpotScan リレー出力型
SpotScan P PNP 電子出力型

3 製品概観



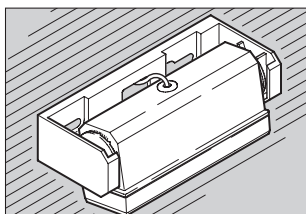
- ① 猿環ブラケット
- ② 光学窓付フロントカバー
- ③ トランスミッターレンズ
- ④ レシーバーレンズ
- ⑤ スキャン幅調整ねじ
- ⑥ DIP スイッチ 1-3
- ⑦ LED ディスプレイ
- ⑧ 取付用金具セット (猿環ブラケットの代わり)

4 設置

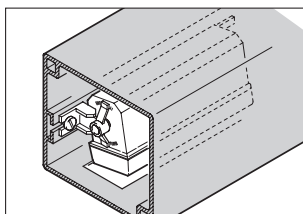


最大取り付け高さは 3.0 m を超えてはいけません。

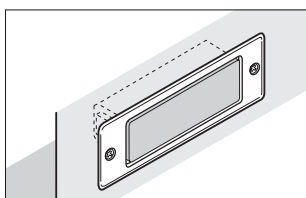
ラチェット板付き猿環ブラケット
(例: 表面取付タイプ)



据付セット
(例: 一体型)



埋め込み型取付フレーム
(一体型には特別な備品)

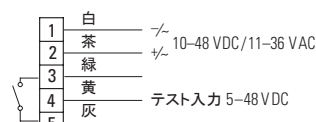


その他の設置付属品も取り寄せ可能です:

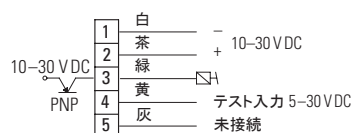
- 保護カバー
- 埋込み注入タイプ型
- 表面タイプ型
- 埋込みタイプセット
- 埋込みタイプカバー

5 電気接続

SpotScan 接続図



SpotScan P 接続図



テスト入力の為の取扱説明:

- テスト入力にはセンサーが静止モード(背景分析)で稼動している時のみ使用できます。6.2 章も同様に参考にして下さい。
- DC 電源でのみテストが可能です。

6 設定



- DIP-スイッチ 1
- DIP-スイッチ 2
- DIP-スイッチ 3

6.1 周波数スイッチ (DIP スイッチ 1)

	オフ	周波数 1
	オン	周波数 2

センサーを狭い間隔 (<50 mm) で設置すると交流します。それを選けるため、二つの違うトランスミッション周波数を使います(1と2)。これらは交互にセットされます。

6.2 運転モード (DIP スイッチ 2)

	オフ	静止モード (背景分析)
	オン	稼動モード (背景抑制)

静止モードと稼動モードを選ぶ:

稼動=背景は無視される(背景抑制)

静止=背景は変わらず。(背景分析)決まった設置のみ可能。

テスト機能は静止運転モードの時のみ稼動します。

6.3 出力スイッチモード (DIP スイッチ 3)

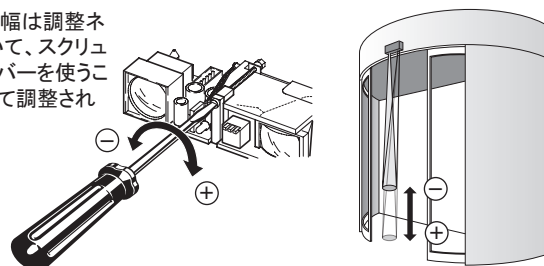
	オフ	静止モードの時 アクティブ 稼動モードの時 パッシブ
	オン	静止モードの時 パッシブ 稼動モードの時 アクティブ

アクティブもしくはパッシブスイッチモード定義:

アクティブ=対象物が検知範囲の中で検知される時、出力がアクティブになる。
パッシブ=検知範囲に何も対象物が検知されない時、出力がアクティブになる。
重要: 静止モード及び稼動モードの時のアクティブ/パッシブは反対の向きです。同様に運転モードの 6.2 章も参照下さい。

7 スキャン幅の調整

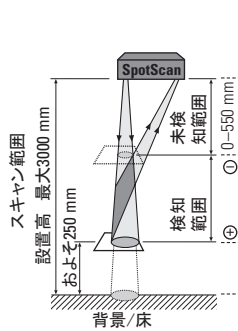
スキャン幅は調整ネジにおいて、スクリュードライバーを使うことによって調整されます。



8 スイッチポイントの設定

- 調整ネジを時計回りに止まるまで回す (= 最大スキャン幅)
- 調整ネジを時計回りと反対に、LED 表示が変わる状態で回す。LED 表示の状態が変わったすぐスイッチポイントは直接床の上にセットされます。
 - 調整をする時、手や他の体の一部もしくはドライバーなどを使っては検知ビームには届きません。(ドライバーを、わずかに対角線上にしまっすぐ持ちます)
- 背景の変化後による間違った検知を避ける為に、スイッチポイントを床からおおよそ 250 mm 以上にセットし戻します。
 - その作業をして、調整ネジを時計と反対周りの方向からさらに離して少し回す。
 - スイッチポイントは、下から手か一枚の紙を用いることで簡単に位置されます。手もしくは紙がスイッチポイントに達したとすぐ LED 表示の表示が変わります。
- カバーを閉じて、もう一度設定を確認します。もし必要であればさらに調整して下さい。

9.2 稼働運転モード(DIP スイッチ 2 = オン)



アクティブ スイッチモード		パッシブ スイッチモード	
出力	LED 表示	出力	LED 表示
オフ	○	オン	☀
オン	☀	オフ	○
オフ	○	オン	☀

9 スイッチング状態

下記図表は、検知範囲に対象物が捕らえられた時の出力と LED 表示のスイッチング状態を表しています。アクティブとパッシブの出力のスイッチモードは違います。6.3 章の定義は守られているはずです。

10 テスト機能

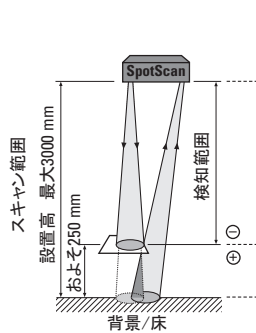
センサーの正しい機能は、テスト機能を使うことで確認されます。テストが稼働中(テスト入力は電気電圧のもとで)、トランスミッターは電源オフです。これは対象物が検知範囲(検知)にあるシミュレーション、および出力のスイッチング状態に変えることを引き起こすものです。**重要: テストは静止モードのみが可能で、電圧レベルとテスト機能の使い方における説明について5章を参考にして下さい。**表は、テスト入力がアクティブの時の出力のスイッチング状態と LED 表示を表しています。

スイッチング状態	出力	LED 表示
アクティブ	オン	○
パッシブ	オフ	☀

11 故障修理

- 運転電圧と電気接続について確認→5章
- センサーの相互影響→6.1 章→
- 最大設置高(スキャン幅)は 3.0 m を超えていますか?
- 床が対象物として認識されていますか? スイッチングポイントは正しく調整されていますか?→8 および 9 章

9.1 静止運転モード(DIP スイッチ 2 = オフ)



アクティブ スイッチモード		パッシブ スイッチモード	
出力	LED 表示	出力	LED 表示
オン	☀	オフ	○
オフ	○	オン	☀

12 技術データ

	SpotScan	SpotScan P	備考
スキャン幅	最大 3000 mm		= 最大設置高
スキャン幅調整	1000 - 3000 mm 機械的調整ネジで		三角測量
検知幅	100 - 3000 mm 550 - 3000 mm		静止モード 稼働モード
温度状態	+60°C で: +10% / -20°C で: +10%		直線で 20°C から(参照)スイッチングポイントまで
白黒検知	< 400 mm		2000 mm 検知幅で
検知範囲	おおよそ 50 x 50 mm		光線の断面は 2000 mm スキャン幅で
ライトのタイプ	パルス断続 IRED		2 周波数が DIP スイッチで選択可能
操作電圧	10-48 V DC もしくは 11-36 V AC	10 - 30 V DC	
残留リップル	最大 10%		DC 運転で
電流/電力消費	最大 100 mA / おおよそ 3 W / 3 VA		
運転モード	静止もしくは稼働		DIP スイッチで選択可能
出力スイッチングモード	アクティブもしくはパッシブ		DIP スイッチで選択可能
信号出力	リレー、1 接触通常開放 最大スイッチ電圧 48 V AC / V DC 最大スイッチ電流 0.5A AC / 1 A DC 最大スイッチ容量 55 VA / 24 W	1 PNP ランジスター 0.2 A / 30 V DC 集光器短絡ブルーフを開ける 逆両極性保護	SpotScanへ: リレー接触電気的分離 微電流(抵抗負荷)1A/24V DC誘導の為/ 容量負荷、スパークエンテング供給 抵抗負荷
反応時間	おおよそ 50 ms / おおよそ 50 ms		検知で/テスト信号で
テスト入力	5-48 V DC	5-30 V DC	DC 運転電圧と静止モードのみ 出力がオンのとき点灯
機能表示	LED 赤		
接続タイプ	ケーブル 5 m		機器の後ろにプラグ付き
耐防御性	IP52		保護カバー IP 65
材質、色	ABS ブラック / Lexan		カバー/フロントカバーに光学窓
サイズ	センサーのみ: 102 x 46 x 32 mm 猿環ブラケット込: 123 x 45 x 50 mm 取付セット込: 140 x 45 x 34 mm		L x W x H
運動温度	-20°C ~ +60°C		
湿度	0-90% 相対湿度		凝縮なし
重量	おおよそ 340 g		パッケージと供給範囲込みで
EMC 融合性	耐干渉性は EN61000-6-1, EN61000-6-2 規格に順ずる 放出干渉は EN61000-6-3 EN61000-6-4 規格に順ずる		CE 89/336 EEC 指令及び修正に順ずる

連絡先

Bircher Asia Pacific Sdn. Bhd.
(Co. Reg. No.: 260319-T)
No. 3A, Jalan Dewani 1/1
Taman Perindustrian Dewani
81100 Johor Bahru
Johor, Malaysia
Phone +60 7 276 18 10
Fax +60 7 276 18 11
www.bircher-reglomat.com.my
info@bircher-reglomat.com.my

保障および責任

- Bircher Asia Pacific Sdn. Bhd. の保障と責任は販売契約に基づきます。
- お客様または第3者が取り扱い説明書に従わず操作を行った場合、あるいは不適当な改造や修理を行った場合、また故障の際にお客様が損害を最小限にするための適切な処置を直ちに行わず、当社に改善の機会が与えられなかった場合には、保障および責任は無効となります。
- 保障および責任は、材質、製造、技術の不良が確認されない場合の損害、また当社が責任を負えない理由による損害には適用されません。
- 製造物責任法が適用されない場合、重大な損害の責任は負いかねます。
- 販売契約に基づいて販売者に対して請求される保障は、これらの法規の影響をうけません。

- お客様の為、当社は今後も商品を開発し続けます。当社は当書類に記載された商品を事前承認なしに変更する権利を保有します。